地方中小企業向けAI導入チェックリスト

以下のチェックリストは、**「まず自社はどこから手を付ければいい?」**を可視化するための"現状スキャン"用ツールです。 ひと区切りごとに深呼吸しながら、「できている/まだ」の二択でサクッとマークしてください。

1. ビジョン & 経営コミット

- [] AI導入で解決したい具体的な経営課題を言葉にできる
- []経営層がKPI・投資規模・スケジュールを示し、社内に発信している
- []「AIは手段、目的は○○」というWHYが全社員に共有されている

2. データ環境 & インフラ

- []必要な業務データ(販売、製造、顧客など)がデジタル化され、取得先が明確
- [] データの**ガバナンス(品質・権限・保管場所)**を定義している
- [] AIを動かすためのクラウド/オンプレ環境の選択方針が決まっている

3. セキュリティ & 法規制への配慮

- [] 個人情報・機密情報を含むデータ利用ルールを策定済み
- []外部サービス利用時の契約・利用規約・国内外法規を確認している
- [] インシデント発生時の対応フローと責任者が決まっている

4. 人材 & 組織体制

[]現場担当+IT部門+経営層の横串チームがある

- [] 社員がAIリテラシーを身につけるための教育プログラムを用意している
- []外部パートナーや専門家と協業する窓口が社内にある

5. ユースケース選定

- []**「業務時間・コスト・品質**」のいずれかを大幅に改善できる領域を特定済み
- []小さく始められる**PoC(概念実証)**候補が2~3個ある
- []成功/失敗の判断基準となる定量指標を決めている

6. ROI & 成果測定

- []投資金額・運用コストの算定方法を明確にしている
- []効果検証のタイミングと担当者が決まっている
- []期待効果が数字だけでなく現場の体験価値としても定義されている

7. 変更管理 & 社内浸透

- []新しいプロセスに伴う業務フロー図を更新済み
- [] 現場がつまずいた時に相談できるサポート体制がある
- []成功事例や学びを社内外へ共有している

8. 将来拡張 & 持続可能性

- []次に取り組むべき中長期ロードマップを持っている
- []AI導入で生じる新しい職務・役割を設計している
- [] 継続的に技術トレンドをモニタリングする担当がいる